

臨時  
議会

# 市長が「盛土撤去予算案」を撤回

## 民報 おうしゅう

読者版

発行  
赤旗奥州出張所  
水沢区字久田 62  
Tel 24-2021  
Fax 24-2049



奥州万年の森地内の太陽光発電要地の造成工事現場

7月21日開催された臨時市議会で、小沢市長は市有地の「奥州万年の森」にある盛土運搬等業務委託料として、9800万円の補正予算を提案しましたが、議会の批判を受け撤回しました。

### 盛土運搬費用として九八〇〇万円の補正予算を提案

市はこの間、「奥州万年の森」地内の未利用地約40畝を、太陽光発電用地として

民間事業者(株)NTTファシリティーズ)に賃貸する契約を締結しています。今回補正予算に計上した9800万円は、同敷地内にある約12万立方メートルの盛土を民間の処分場に、ダンプ2万台で搬送する費用です。

### 当初は残土処理を含めて賃貸の方針

この盛土は、隣接する胆江地区最終処分場を建設する際生じた残土を、同処分場の覆土や公共事業等に活用する目的で、市が保管していたものです。

市は、太陽光発電業者を公募する際、最終処分場の覆土用として活用する以外の残土処理を含めた賃貸の方針を提示していたといわれています。

### 担当者が勝手に方針を転換したというのか?

ところが昨年11月、市の担当



### 「変更を前提の議案」の提案が許されるか

市長は、議案提出にあたって「7月17日、NTTファシリティーズの社長と会い、盛土撤去の費用負担について、改めて協議することになった。」と発言しています。

市長の発言は、今回提案された予算案が、変更を前提とした予算ということになります。このような議案提出のあり方が許されるのでしょうか

### 行政運営の怠慢ではないかの声

この問題は、6月議会でも強

者が事業者に対し、「盛土はスマートインターチェンジ建設などに活用する」として、「盛土の撤去は市が行う」との方針を伝えたといわれています。

### 市長が知ったのは今年3月というが?

市長と担当部長は、「担当者が事業者に『市が盛土を撤去する』と伝えたことを知ったのは今年3月だ。」と言っています。市長も担当部長も、「全く知らなかった」で済むことでしょうか?

### 議会の議決と異なる交渉あり得ない

く指摘されてきたものです。市長が議会の意見に真摯に耳を傾けるなら、相手方との交渉等は議案送付前にやられるべきものです。「行政運営の怠慢だ。」という指摘もあります。

日本共産党の今野裕文議員は、「市長は、議会が議決したものと異なる内容で、相手方と交渉ができるのか。議会の議決を否定するものだ。」と、強く指摘しました。

### 胆沢区統合中学校建設用地問題の教訓が生かされていない

市当局は、補正予算提案について「市の地代収入等の目減りを少なくするために、早期の予算議決が必要だ。」「担当者の危機意識が欠けていたことが問題の原因だ。」の発言をしています。

しかし、これらの問題が生ずる原因については、「胆沢区統合中学校建設用地に係る産廃問題」などで、明らかにされてきたものです。市長をはじめ市の幹部は、この間の一連の不祥事ともいえるべき問題の教訓に真摯に向き合い、姿勢を正すべきです。

### 子戦記

戦争を知らない大人たちが決めてよいのか



連日33度・35度を記録する猛暑となりましたが、共産党市議団と一緒に各地で「市政報告と政治を語るつどい」を開催しています。21日の川端集会所では「戦争法は廃案するしかない。戦争を知らない大人たちが決めてよいのか。」と怒りをあらわにした発言がありました。また、22日の江刺区では「ただでさえ少ない子どもたちが、このままでは兵隊にとられてしまう!」などの、不安と怒りの声が寄せられました。

### 議案取り下げは無責任

市長が議会終了後、報道陣に対し「予算案の可決の見通しはあつた。」と述べたと地元紙に報道されています。もしもこれが真実とするなら「取り下げするような議案を提出し、議会を混乱させておきながら、無責任極まりない」と言わざるを得ません。

### 取り下げを求めた議員の責任と対応

また、市長に議案の取り下げを求めた議員の対応も問われるのではないのでしょうか